



発行責任者

堤 敏博

夏季休業を迎えるに当たって

校長 堤 敏博

夏休みに入る直前の全校集会における校長講話の一部を紹介します。

4月の始業式の際に「四頭の馬」というたとえ話を用いて「自ら考え、自分の意志で行動できる人になって欲しい」という話をしました。馬には性質の違う四つのタイプがあるということです。

「第一の馬は、騎手の心を読める賢い馬で、騎手が急ぎたいと思えば急ぎ足になり、この辺は景色がよいから眺めようと思えばゆっくり歩く馬」「第二の馬は、走ろうと思えば鞭を振り上げるだけで、察して走り出す馬」「第三の馬は、鞭を振り上げ、たたかれて初めて気づき、しかたなく走る馬」「第四の馬は、鞭でたたいても、走らず、ただ暴れるだけの馬」

人も、この馬のたとえと同じだと思うのです。

「やるべきことが自分で分かり行動できる人」「他からの示唆を受け、自分で気づいて素直に行動できる人」「言われて初めて実行する人」「言われてもしない人」

たとえば床に落ちている塵を「自分から拾う人」「他の人が拾う人を見て自分も拾う人」

「他の人に言われて初めて拾う人」「言われても拾わない人」

これは勉強でも、部活動でも、普通の生活でも、そのまま通用する話だと思います。本校では、昨年度までは、1年365日学校を開放し、学校で勉強できる環境を作ってきました。しかし、今年度は、自分で自分を管理し、自分の意志で行動できる習慣をつけてもらうために、あえて学校を開放しない日を作っています。ぜひ、自分の目標に向かって、自分で計画を立て、自分を管理できる力を養って欲しいと思います。高校を卒業したら、いろいろな場面で事細かに指示をしてくれる人はいません。自分で自分を管理しなければならないのです。まずこの夏、それぞれの自分の目標に向かって自分の意志で行動して欲しいと思います。

ところで、西日本を中心にした豪雨により多くの方が亡くなられ、いまだに行方不明の方がいらっしゃるという報道を目にするたびに胸が痛み、改めて命の重さを感じます。亡くなった方々がどのような思いで亡くなられたのか、その無念さを思うとともに、残された遺族の方々の悲しみの大きさを感じています。

皆さん、人の命というのは非常に重いものです。そして、皆さんも、かけがえのない自分を、自分の命を大切にしたいと心から訴えます。我々教師も一番に守らなければならないのは君たちの命だと思っています。日々の学校生活や様々な学校行事に取り組む中で、君たちが安心して生活し、安全に活動できる場を保障することこそが、先ず学校の責任を果たすことだと考えています。でも、それ以上に君たちの命を大事に思っておられるのは、ご両親であり、ご家族であり、日頃から支えてくださっている周りの方々です。人は、一人では生きていけません。我々は皆、これまで多くの方々に支えられて生きてきました。これからも同じです。我々の命は、我々のものですが、我々だけのものでもありません。このことを肝に銘じ、これからもお互い支えあって生活していきましょう。

夏は、海や川の事故、部活動に熱中し過ぎての熱中症など、身の回りにいろいろな危険があります。何事に対しても頑張ることは大切ですが、頑張りすぎないように、心に多少の余裕を持ちながら夏を乗り切りましょう。

夏休みに入る直前の全校集会における校長講話の一部を紹介しました。お子様との話題にいただければ幸いです。



【スポーツコース マリンスポーツ実習】（7月4・5日）

7月4日（水）から5日（木）の日程で、マリンスポーツ実習を実施しました。本来ならば2泊3日の日程で行う予定でしたが、台風の接近に伴い、急遽1泊2日での実施となりました。天候が心配されましたが、カヌー実習や水泳実習、飯盒炊さん、テント設営、救急救命講習など、地域の方々のご協力のおかげで、どの実習も予定通り実施することができました。

今年はスポーツコースの1・2年生35名が参加しました。どの実習でも、生徒たち1人1人が自分の役割を果たそうと努力する姿が随所に見られました。特に2年生が1年生を指導する姿はとてまたくましく、印象的でした。生徒たちは、慣れない自炊やテント設営など多くの体験を通して、自然の雄大さや厳しさ、仲間と協力することの大切さ、命の尊さ、さらには達成感を味わうことができました。今回の実習を今後の生活に活かしてほしいと思います。



【五高祭テーマ発表】（6月19日）

今年度のテーマは、『キャンパス』

五島高校にはたくさんの色があります。色の中にも、クラス、生徒一人一人の個性や想いがあります。その色がまとまり、五高祭というキャンパスに1つの大きな絵を完成させたいという思いを込めてこのテーマにしました。

五高祭の主演は全校生徒です。五高祭実行委員は、全校生徒のみなさんに未来に希望を抱いてもらえるような五高祭を企画・運営していきます。今年度の五高祭も、是非ご期待ください。



【体育祭テーマ発表】（7月9日）

7月9日（月）に今年度の体育祭テーマ発表が行われました。今年度のテーマは「Try Angle（トライアングル）～奏でようみんなの音色～」です。1・2・3学年で構成された各団がそれぞれにまとまり、3種の違う音を奏でながらも、その中でひとりひとりが様々な方向（アングル）から挑戦（トライ）してほしいという体育祭実行委員の想いが込められています。

各団の色、クラスは下記の通りとなりました。体育祭本番では、地域の方々も楽しめる体育祭になるように準備を進めていきますので、多くの方のご参観よろしくお願いたします。

	赤団	青団	黄団
3年	5・7組	2・3・6組	1・4組
2年	1・4組	5・6組	2・3・7組
1年	4・6組	1・3組	2・5組

第1回校内競技大会結果（7月9日）

	優勝	2位
男子バレーボール	3-3	3-1
男子ソフトボール	3-5	2-6
男子卓球	3-6	3-4
女子バレーボール	3-2	2-3
女子サッカー	スポーツコース合同チーム	1-6
女子ソフトテニス	1-2	3-5



【1年生普通科 バラモンセミナー】（7月10日）

7月10日（火）1年生では社会人講演会として、五島を拠点に活躍されている職業人の方に来校して頂いて講話をしていただくバラモンセミナーを開催しました。今年度は、五島市役所、五島観光協会、五島海上保安署、五島警察署、五島市教育委員会などの官公庁の他に、五島中央病院から看護師と薬剤師の方、長崎新聞、元広告会社勤務で現在地域おこし協力隊をされている方、五島建設業協会の方に来ていただきました。今年は、講話を25分していただき、講師の方と生徒が対話形式で15分間の懇談を行いました。「仕事を通じてどのように五島へ貢献するのか」、「五島で働く意義は何なのか」などの質問を投げかけ、活発に意見交換を行いました。



【衛生看護科 1年生施設実習】（7月5・6日）

7月5・6日の2日間、衛生看護科1年生29名は島内の老人施設で実習を行いました。初めは緊張と戸惑いの表情でしたが、入所者さんや職員の方々に支えられ、徐々に笑顔が見られるようになりました。実習が始まり最初の壁はコミュニケーションでした。様々な症状を持つ高齢者とのコミュニケーションは、自分たちの想像以上に困難だったようで、2日間を通して悩み話し合いそして考えました。実習後半は、多くの生徒が、笑顔で入所者さんと接することができていました。今回の実習は看護学生としての姿勢、高齢者の生活や接し方などについて学び、充実した実習となりました。快く受け入れて下さった入所者様、施設の方々に深くお礼申し上げます。



【インターハイへの抱負】 陸上部 平田 莉子

北九州地区予選でインターハイ出場を決めた時、周りのたくさんの方々から自分のことのように喜んでくれました。自分の結果でこんなに喜んでもらえるんだと嬉しさと驚きもありました。そして良い時も悪い時も1人じゃないと気付いた瞬間でした。なかなか調子を上げられなかった自分が全国の切符をつかめたのは、支えてくださる多くの方々といつも変わらず接してくれる個性豊かなチームメイトの存在のお陰です。必ず自己ベストを更新し、もう一度みんなを笑顔にしたいです。



【全国大会への抱負】 百人一首かるた部

私たち百人一首かるた部は、七月に滋賀県近江神宮で行われる全国高等学校かるた選手権に出場します。団体戦での目標は、二回戦突破です。目標を達成することができるよう頑張ります。また、島外の人と試合をして多くのことを学び、次の試合や大会、練習に生かしていきたいです。



【全国大会への抱負】 美術部 石田 聖紫

私は今年、全国総合文化祭に参加します。信州総文祭では多くの優れた作品を見たり、意見を交換したりすることができ、またその他にも手の込んだ企画もあるそうなので、とても楽しみです。簡単には得ることのできない貴重な機会なので、家族や部員、そして多くのアドバイスで私を導いてくださった顧問の先生に感謝して、今後何かに活かせるような技術や考えを掴んで来ようと思います。



作品 「なみだ」